

## 最新の技術・製品情報をお届けします



車両



### メトロノース鉄道向け 交流通勤電車の追加受注



川崎重工は、ニューヨーク州交通局 (MTA) 傘下のメトロノース鉄道 (MNR) より、M-8型交流通勤電車60両および既存車両の改造工事を追加受注しました。発注総額は約302百万ドル(約320億円)で、追加車両は2019年から2021年にかけて納入する予定です。

今回受注した車両は、2011年から2015年にかけて川崎重工が納入したM-8型電車の増備車両で、ニューヨーク市マンハッタン地区のグランドセントラル駅とコネチカット州ニューヘイブンを結ぶニューヘイブン線(路線長約116km)にて、営業運転に投入されます。また、さらなる安全性向上のため、既存車両に車載信号装置の機能強化や監視カメラなどの周辺機器調達を含めた改造工事を実施します。

今回の受注によって川崎重工のM-8型電車の累計受注両数は468両、契約総額は13.1億ドル(約1,425億円)に達します。また、今回の追加契約には最大34両のオプションが付随しており、オプションが全て行使されると、メトロノース鉄道で営業運転されている車両の半数以上が川崎重工製になります。

ガスタービン・機械



### インドネシア洋上プラットフォーム向け 1.5MW級ガスタービン発電設備2台を納入

川崎重工は、東南・西南アジアのガスタービン販売・サービス拠点であるカワサキ・ガスタービン・アジア社を通じて、インドネシアの国営会社PT.Pertaminaの開発・生産子会社であるオイル&ガス会社PHE ONWJ社向けに、発電出力1.5MW級の洋上プラットフォーム用ガスタービン発電設備2台を納入しました。

今回納入した設備は、川崎重工が開発したガスタービン「M1A-13」を搭載する、天然ガス焚きのガスタービン発電設備「GPB15」2台で、PHE ONWJ社が所有するジャワ島北部の洋上プラットフォームLima Flow Stationの発電設備更新のために導入され、運用開始は2016年末を予定しています。海底から採掘した原油から石油やガスを抽出する設備や作業者を収容する同プラットフォームにおいて、採掘用設備の動力や照明のための電気を供給します。



精密機械



### シリーズ最大の可搬質量となる 高速パレタイズロボット 「CP700L」を新発売

川崎重工は、高速パレタイズロボット「CPシリーズ」に最大可搬質量700kgのロボット「CP700L」を新たに加え、2016年11月1日より発売を開始しました。

今回発売する「CP700L」は、物流工程の箱物、袋物などを対象ワークとするパレタイズロボットです。従来の「CPシリーズ」各機種と主なアーム構成部品を共通化してアーム本体をコンパクトにすることで、本体質量を業界最軽量の1,750kgとしながら、最大可搬質量700kgを実現しています。また、制御部は、従来の「CPシリーズ」と同じ「小型・省エネコントローラ」に対応しています。パレタイズ作業における減速エネルギーを電力として再利用する電力回生機能を持つ「小型・省エネコントローラ」と、組み合わせることによって省エネルギー・CO<sub>2</sub>排出量削減に貢献します。



関連会社

### 国内販売網再編による モーターサイクル専門店 リニューアル1号店をオープン



※2020年度から国内販売モデルのすべてを取り扱うカワサキ専門店と、排気量400ccまでのモデルを取り扱うカワサキ正規取扱店の2系統の国内販売網を構築する取り組み。

株式会社カワサキモーターズジャパンは、川崎重工が進める国内販売網再編\*の取り組みの一環として、2016年12月8日にカワサキ専門店のリニューアル1号店をオープンしました。

同社は、他社と一線を画した生涯顧客の獲得拡大を目指すブランド戦略を推進しており、今回、大阪市鶴見区にある直営の専門店「プラザ大阪」を新しいVI(ビジュアル・アイデンティティ)のもと改装し、「プラザ大阪鶴見」としてリニューアルオープンしました。新店舗では、高級感のある内装、専用BGM、オリジナルブレンドコーヒーによる上質のおもてなしを来店者に提供し、当社製バイクやオリジナルのアパレルを展示販売します。今後、同社が展開するカワサキ専門店では、これまでのモーターサイクル販売店の枠を越えたライフスタイルを提案していきます。

また、カワサキ専門店は今後、直営以外の販売店も加え、現状の6店舗から120店舗程度に拡大する予定で、各専門店では二輪車の点検整備や車検を行うことのできる指定整備工場の認証取得を進めていきます。この認証取得に当たり、即戦力の整備士を確保するため、日本モーターズスポーツ専門学校大阪校と提携し、カワサキ専門の整備士の育成に努めてまいります。

## INFORMATION 日印両国政府首脳が川崎重工をご視察

2016年11月12日、日印両国政府首脳(日本政府:安倍晋三内閣総理大臣、インド政府:ナレンドラ・モディ首相)が川崎重工兵庫工場(神戸市)をご視察され、金花社長、小河原車両カンパニープレジデントの案内で、JR東日本向けE5系新幹線の艀装工程と完成車体をご覧いただきました。



写真左)兵庫工場ご視察の様子  
写真右)左より小河原車両カンパニープレジデント、村山会長、ナレンドラ・モディ首相、安倍晋三内閣総理大臣、金花社長

